

はじめに

この本ははじめてドイツ語を学ぶ学生を対象にした初級文法の教科書です。

4月に意欲に燃えてドイツ語を学びはじめたのに、動詞や名詞の変化を覚える負担から、前期の半ばで早くも挫折感を覚え、熱意が薄れてしまう残念なケースが多々あります。

その対応として「やさしい」ことを掲げた教科書が昨今は増えています。そうした教科書では、例えば、①文法の細かい説明を減らす。②文法項目のうち難しいものは別仕立てにする。③表を中心に色使いや字の大きさ、太さを変え、ビジュアル的に理解できるようにする・・・といった工夫がなされています。

私たちも②、③はこの傾向に倣いつつも、根本的には違うコンセプトによって教科書を作ってみました。①については、まず説明を減らし簡素化して「やさしく」するよりも、むしろ学習者と同じ目線になって、「わかりやすく」導いてあげることが大事なのではないかと考えました。従って、重要だと思える点については、むしろ、(網羅的に提供する知識を増やすのではなく!) 丁寧に多面的な説明をすることを心がけました。従来の教科書とは少し違った説明文があるのもそういった理由からです。③のビジュアル的な工夫も、全体が相互参照的なネットワークになるように徹底させました。

①についても、従来型の構成全体を見直し、独自の異なった配列で文法項目を並べてあります。つまり、(1) 一方で、カットする項目については大胆に、(2) 他方で、扱う項目の並べ方については斬新さをもってという考え方を基本に文法項目を組み立て直しました。こうした順序の変更はコンヴェンショナルな教科書のもつ合理性とはときに背反しますが、私たちは何より「学生目線」という点を大事にしようと考えました。

(1) について。例えば、「不定冠詞類」の使用上の重要性は「定冠詞類」より上位にあると考え、本文では扱っていません。また、学生の負担と混乱を招きやすい「形容詞の変化」についても同様です。「接続法」も第2式のみを取り上げています。もちろん、こうしたものを補足的に学べるように、後ろの **+** **Plus! 文法** でこれらを扱っています。

(2) について。動詞系の変化 (Konjugation) と名詞系の変化 (Deklination) を両輪に、ジグザグに並べて進んでいく従来型に対し、前者を太い一本の柱として貫く項目の配置にしました (それは後者の方が学生の負担感が増していると考えられるためでもあります)。

L.1の動詞の現在人称変化を頭として出し、そのあと手足となる基本材料を整えた後は、L.5～L.10まで動詞系の変化で背骨を一気に通していることが特徴です。しかし同時に、前期に学生の意欲を萎えさせる理由になることの多い「不規則変化動詞、命令形」をL.9に持ってきているというのもあまり見られない独自の配置です。

さて、この教科書のもう一つの特徴として、副題に「ふかく」とあるように、少し踏み込んだ「深い」内容の話も盛り込んだ点があります。かつて我々が学生時代に大学で初級ドイツ語を学んだとき、英語よりはるかに複雑な文法項目が出てきても、その意味は問わず、とにかく頭から覚える「丸暗記」の学習をしましたが、教える身になってみると、「どうしてそうなのか」ということをきちんと説明し、納得した上で覚えてもらうのが筋であり、学生の既修の英語の知識を補助線として引けば理解の手助けになるのではという考えに至りました。

各課の終わりにある「ドイツ語のなぜ?」や後ろの **+** **Plus! コメント** はそういう意図から設けたもので、やや難しい話になったところもありますが、初級文法の教科書でこのようなことまで書いているものは私たちの知る限りほぼないと思います。

ドイツ語の学習が機械的で無味乾燥なものにならないように、また、言葉もそれぞれの歴史や文化を担っていることに学生が気づくための橋わたしになることを願って、教科書のタイトルも **Brücke** としました。

結果としては、一律に「やさしく」するのではなく、はじめての学習者には「わかりやすく」、もっと学んでみたくなった人には「ふかく」分け入ることのできる、学習者のニーズに応じた幅のある教科書になったと自負しています。

音声サイト URL

<https://text.asahipress.com/free/german/brucke/>



目次

Das Alphabet	1
--------------	---

Lektion 0 ドイツ語の発音	2
--------------------------	---

- 1 発音の規則
- 2 注意すべき母音
- 3 注意すべき子音

Lektion 1 ドイツ語の動詞はすべての人称で変化する	6
--------------------------------------	---

- 1 人称代名詞（主語）
- 2 動詞の現在人称変化
- 3 文の構成
- 4 sein（～です、～がある 英：be）の現在人称変化

Lektion 2 名詞の性と格を示すのが冠詞の役割	10
-----------------------------------	----

- 1 名詞の性と格
- 2 複数形
- 3 冠詞
- 4 重要動詞 haben と werden の変化

Lektion 3 所有冠詞と否定冠詞は不定冠詞の仲間	14
------------------------------------	----

- 1 所有冠詞
- 2 否定冠詞 kein
- 3 人称代名詞の格変化

Lektion 4 前置詞が名詞・代名詞の格を決める	18
-----------------------------------	----

- 1 前置詞
- 2 非人称の es（英：it）

Lektion 5 動詞の過去形も現在形同様すべての人称で変化する	22
--	----

- 1 動詞の3基本形
- 2 動詞の過去人称変化

Lektion 6 過去の事柄は過去形ではなく現在完了形で	26
--------------------------------------	----

- 1 現在完了形
- 2 接続詞
- 3 zu 不定詞

Lektion 7 話法の助動詞は話し手の判断を付け加える	30
--------------------------------------	----

- 1 話法の助動詞の現在人称変化
- 2 構文
- 3 話法の助動詞の主な意味
- 4 未来形

Lektion 8 分離動詞の前つづりは動詞にさまざまなニュアンスを加える	34
--	----

- 1 分離動詞と非分離動詞
- 2 受動文

Lektion 9 不規則動詞にも規則性あり	38
-------------------------------	----

- 1 動詞の現在人称変化（不規則変化）
- 2 命令形

Lektion 10 接続法第2式 —話者が非現実の世界を接続するモード	42
---	----

- 1 接続法
- 2 接続法第2式の人称変化
- 3 接続法第2式の用法（現在形）

Lektion 11 再帰表現は動詞が表す内容を主語に帰す	46
--------------------------------------	----

- 1 再帰代名詞の人称変化
- 2 再帰動詞
- 3 形容詞の比較級と最上級の形態
- 4 比較級と最上級の用法

Lektion 12 名詞で文に説明を加える関係代名詞	50
------------------------------------	----

- 1 関係代名詞
- 2 関係代名詞の形と用法
- 3 不定関係代名詞 wer, was

ドイツ語圏略地図	54
----------	----

Plus! 文法・コメント	55
---------------	----

主要不規則動詞変化表	76
------------	----

この教科書では、有機的に、また体系的にみなさんがドイツ語を学べるような工夫がしてあります。様々なアイコンやマークを使って、見てわかりやすいようになっています。以下に説明をしますので、ぜひそれらをうまく利用して、学習が効果的にできるように役立てて下さい。

●各課 (Lektion) の練習問題 (Übungen) について

全部で5つの形式から構成されています (1-4は各4問ずつ)。5は原則3セット)

1 ⇒その課で学んだ文法項目の確認練習

2 ⇒ドイツ語文の日本語訳

3 ⇒日本語文のドイツ語訳

4 ⇒聴きとり練習

5 ⇒会話練習

●本文のアイコン、マークについて

ここがポイント ⇒その前の表や説明などで把握しておくべきいちばん重要な点をわかりやすく記述してあります。本文の説明は基本的には「である」調ですが、「ここがポイント」では「ですます」調で書いてあります。

➤ ⇒短く補足的な説明をつけ加えたりヒントなどを示すときのマークです。字のポイントは小さくしてあります。

⇒このマークでは本文中の関連する項目を相互に参照するようという指示を頁数で示してあります。

Plus! 文法 ⇒本文で扱わなかった文法項目について後ろの **Plus!** というセクションでまとめて取り上げています。本文中には参照すべきその項目のナンバーと頁数が示してあります。

Plus! コメント ⇒その課で扱った文法項目について、さらに踏み込んだ、いわば「語学談義」のような興味深い話に触れています。ですので語りかける口調になっています。

また **Plus!** セクションでは、その中で学んでおくことを薦めるレギュラーの項目には特にしるしを付していませんが、さらに上の中級レベルと考えられる項目には のアイコンが付いています。

健太とザビーネのドイツ語の「なぜ」?

各課の終わりにコラム風におかれたコーナーです。

日本人の留学生の健太はドイツの大学でドイツ語学を学んでいます。なかよしのザビーネはドイツ語と英語の比較言語学やドイツ語史に詳しい大学院生で、健太はいつもザビーネにあれこれ質問して知識を深めようとしています。

必ずしも簡単な内容ではないかもしれませんが、そんな二人の会話からみなさんも語学についての何かのヒントを発見したり、「そうだったのか」と頷いてもらえる箇所が少しでもあれば嬉しく思います。

「ドイツ語のなぜ?」や「Plus! コメント」等の作成にあたっては、熊本大学文学部名誉教授の荻野蔵平先生(ドイツ語・ドイツ語史)と法政大学文学部教授の大澤ふよう先生(英語・英語史)のお二人から多くのご教示を頂きました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

A	a	a:	Q	q	ku:
B	b	be:	R	r	er
C	c	tʃe:	S	s	es
D	d	de:	T	t	te:
E	e	e:	U	u	u:
F	f	ef	V	v	faʊ
G	g	ge:	W	w	ve:
H	h	ha:	X	x	iks
I	i	i:	Y	y	ýpsilon
J	j	ʃt	Z	z	tʃet
K	k	ka:	Ä	ä	ɛ:
L	l	ɛl	Ö	ö	ø:
M	m	ɛm	Ü	ü	y:
N	n	ɛn			
O	o	o:			
P	p	pe:	ß	ß	es-tʃét

★2017年より大文字のßを使って綴ることもできるようになりました。



Lektion 0 ドイツ語の発音

1 発音の原則

- ① アクセントは最初の母音におく (外来語などは例外)
- ② 基本的にローマ字読み
Hilfe 助け Onkel おじ Kunst 芸術
- ③ アクセントのある母音の長短
 - ・アクセントのある母音の後の子音が1つなら、その母音は伸ばして読む (長音)
haben 持っている Name 名前 gut 良い
 - ・アクセントのある母音の後の子音が2つ以上続いたら、その母音は短く読む (短音)
kalt 冷たい denken 考える bitte どうぞ (英: please)

➤ なお、ドイツ語では名詞は普通名詞であっても文中においてもすべて大文字で書き始める。



【発音練習】

a	[a:] [a]	Gabel	フォーク	danken	感謝する
e	[e:] [ɛ] [ə]	geben	与える	Bett	ベッド
i	[i:] [ɪ]	Titel	表題	Tinte	インク
o	[o:] [ɔ]	rot	赤い	kommen	来る
u	[u:] [ʊ]	Hut	帽子	Luft	空気



2 注意すべき母音

- ① aa, ee, oo のように同じ母音が続くと長音になる。
Aal うなぎ Tee 紅茶 Boot ボート
- ② 母音+hの場合、hは読まず、前の母音を長く読む。(英語の *knife, comb* の k, b のように、ドイツ語で唯一発音しないことがある文字)
fahren 乗り物で行く ihn 彼を Kuh 雌牛
- ③ ウムラウト (変母音) の読み方
 - ä [ɛ:] [ɛ] a の口の形で e と発音する Träne 涙 Gäste 客 (複数形) Hände 手 (複数形)
 - ö [ø:] [œ] o の口の形で e と発音する Flöte 笛 hören 聞く können ~できる (英: can)
 - ü [y:] [y] u の口の形で i と発音する grün 緑色の üben 練習する Hütte 小屋

二重母音

au	[aʊ]	[アオ]	Baum 木 kaufen 買う Ausnahme 例外
ei	[ai]	[アイ]	Bein 脚 Eis 氷、アイスクリーム nein いいえ
ie	[i:]	[イー]	Liebe 愛 Miete 家賃 tief 深い
eu	[ɔʏ]	[オイ]	heute 今日 Leute 人々 neu 新しい
äu	[ɔʏ]	[オイ]	Bäume 木々 (複数形) Gebäude 建物 träumen 夢を見る



3 注意すべき子音

語末 / 音節末の **-er, -r** の母音化 [ɐ] あまり口を大きく開けず、軽く [ア] と読む。
Leder 皮 Mutter 母 Eltern 両親 / Tür ドア Tier 動物

j	[j]	ヤ行の音 Japan 日本 jeder いずれの…も (英: every) Juli 7月
s	[z]	[ズ] s の後に母音が続く場合 sagen 言う Sahne クリーム sehen 見る
	[s]	[ス] s の後に母音が続かない場合 Gast 客 Kurs コース
v	[f]	[フ] Vater 父 Vogel 鳥 Volk 民衆
	[v]	ただし、外来語の場合は v は濁って読む November 11月 Vase 花瓶
w	[v]	[ヴ] Wasser 水 wir 私たちは Wein ワイン
z	[ts]	[ツ] Mozart モーツァルト Zauber 魔法 Zoo 動物園

j, v, z は英語では濁る音だが、ドイツ語では濁らない。**w** は英語では濁らない音だがドイツ語では濁る。

ß/ss [s] [ス] groß 大きい Fußball サッカー essen 食べる Fluss 川
発音は同じ [ス] だが、**ß** は子音1つ、**ss** は子音2つになるので、その前の母音の長短が異なってくる。

語末の **-b, -d, -g** [p] [t] [k] は濁らず、[フ] [ト] [ク] と発音する。ただし、これらの子音が語頭に置かれたり、その後に母音が続く場合には濁って読む。

b	[p]	Kalb 子牛 Herbst 秋 / [b] Blume 花 Kürbis かぼちゃ
d	[t]	Kind 子供 und そして (英: and) / [d] drei 3 (数字) Kinder 子供たち (複数形)
g	[k]	Tag 日 (英: day) Jagd 狩猟 / [g] Gnade 恩寵 Tage 日 (複数形)

語末の **-ig** の場合は [ɪç] [イヒ] billig 安い König 王様

-ng の場合は英語の *young* [ŋ] [ング] のように読む。jung 若い singen 歌う Zeitung 新聞

ch	[x]	[ハ、ホ、フ] a, o, u, au の後 (a, o, u, au の口の形のまま、喉を擦るように息だけ出す) machen する、作る (英: do, make) Nacht 夜 / hoch 高い Koch コック / Buch 本 suchen 探す / auch ~もまた Bauch 腹
	[ç]	[ヒ] 上記以外 (e, i, ウムラウト付きの母音、子音) の後 echt 本物の Köchin 女性のコック Milch 牛乳
chs	[ks]	[クス] Fuchs キツネ wachsen 成長する Dachshund ダックスフント
x	[ks]	[クス] chs と同じ発音 Examen 試験 (アクセントは a に) Taxi タクシー
sch	[ʃ]	[シュ] (英: wash の sh の音) Fisch 魚 Schule 学校 schön 美しい
tsch	[tʃ]	[チュ] (英: watch の tch の音) Deutsch ドイツ語 Tscheche チェコ人 tschüs バイバイ

語頭の **sp-** の [ʃp] [シュプ] Spanien スペイン spielen 遊ぶ Sport スポーツ

語頭の **st-** の [ʃt] [シュト] stark 強い Straße 道 Student 学生 (アクセントは e に)

pf [pf] [プフ] (pufu とならないように) Apfel リンゴ Pflicht 義務

qu [kv] [クヴ] Quelle 泉、源泉 Quittung 領収書
英語は u を濁らず [w] で読んでいるが、ドイツ語は濁って [v] で読む。

dt, th [t] [ト] Stadt 町 Schmidt シュミット (人名) /

Theater 劇場 (アクセントは a に) Thema テーマ

ts, ds, tz [ts] [ツ] nachts 夜に rechts 右へ / abends 晩に eilends 急いで / jetzt いま Katze 猫

- ドイツ語は合成語の多い言語である。2つ(以上)の単語が結びついてできた合成語の場合は、元の単語の語末・語頭の音はそのまま生かされる。
- なお合成語の性については、📖 Lektion 2, 10頁
 - Kalb 子牛 + Fleisch 肉 → Kalbfleisch 子牛の肉 **b** の読み方は [p]
 - Abend 晩 + Essen 食事 → Abendessen 夕食 **d** の読み方は [t]
 - Fußball サッカー + Spiel 試合 → Fußballspiel サッカーの試合 **sp-** の読み方は [ʃp]
 - wieder 再び + sehen 見る → wiedersehen 再会する **-er** の読み方は [e]

【発音練習】

7 🎧 ●曜日 **Wochentage**

Montag	月曜日
Dienstag	火曜日
Mittwoch	水曜日
Donnerstag	木曜日
Freitag	金曜日
Samstag	土曜日
Sonntag	日曜日

8 🎧 ●月 **Monate** (青色がアクセント)

Januar	1月	Juli	7月
Februar	2月	August	8月
März	3月	September	9月
April	4月	Oktober	10月
Mai	5月	November	11月
Juni	6月	Dezember	12月

9 🎧 ●季節 **Jahreszeiten**

Frühling	春	Sommer	夏	Herbst	秋	Winter	冬
----------	---	--------	---	--------	---	--------	---

10 🎧 ●数詞(基数) **Grundzahlen**

1 eins	11 elf	21 einundzwanzig
2 zwei	12 zwölf	22 zweiundzwanzig
3 drei	13 dreizehn	30 dreißig
4 vier	14 vierzehn	40 vierzig
5 fünf	15 fünfzehn	50 fünfzig
6 sechs	16 sechzehn	60 sechzig
7 sieben	17 siebzehn	70 siebzig
8 acht	18 achtzehn	80 achtzig
9 neun	19 neunzehn	90 neunzig
10 zehn	20 zwanzig	
100 (ein)hundert	1000 (ein)tausend	

* 13-99で、不規則なつづり方になる数字は青色で示してある。

英語同様、まず1から12までを覚える。13から19は英語では *-teen* となるが、ドイツ語では基本的には10の *zehn* の前に3~9をそのままつけて、*dreizehn* のようにする。以降は10ごとに *-zig* (英語は *-ty*) になる。(ただし30は *dreißig*)

また、その間の数、例えば、21、36、42... などと言うときは、[1の位und10の位] のように言う。英語は23なら *twenty three* のように [10の位と1の位] のように言うが、ドイツ語は1の位から書き、und (英: *and*) を入れてから10の位に繋げ、間をあげないで *dreißig* のように1語で書く。英語にも古くは、ドイツ語のような *three and twenty* という言い方もあった。

➤ 数詞(序数詞、西暦年号の読み方)については 📌 Plus! 文法 📖 56頁

●あいさつ **Grüße**

Guten Morgen! おはよう	Auf Wiedersehen! さようなら
Guten Tag! こんにちは	Tschüs! バイバイ
Grüß Gott! こんにちは(南ドイツ、オーストリア)	Bis morgen! また明日ね
Guten Abend! こんにちは	Hallo! ちょっと/もしもし/すみませんが/やあ
Gute Nacht! おやすみなさい	

Entschuldigen Sie! / Entschuldigung! / Verzeihung! すみません
 - Kein Problem! / Macht nichts! 大丈夫ですよ(平気ですよ)

Danke schön! / Vielen Dank! ありがとう
 - Bitte schön! どういたしまして

Bitte! どうぞ/すみません
 Gute Reise! よい旅を!
 Viel Spaß! 楽しんで!

Wie geht es Ihnen? / Wie geht's? お元気ですか? / 元気?
 Danke, gut. Und Ihnen/dir? ありがとう。元気です。あなた(君)は?
 Danke, auch gut. ありがとう、(同じく)元気です。

健太とザビーネのドイツ語の「なぜ」?



ドイツ語って英語と似てるよね。



英語とドイツ語はどちらもインド・ヨーロッパ語族のゲルマン語派に属する、共通の祖先をもった言語だからね。ゲルマン語起源の語に関して言えば、英語とドイツ語は、発音の規則を異にする「似た」言語と言えるかな。



たとえばどういう規則性があるの?

よく知られている対応は、次のようなもの。「音」と「文字」の対応関係がわかるかな? 英語との関係からドイツ語を見ていくと、きっと面白いね。



英 <i>sheep</i>	- 独 Schaf	英 <i>thing</i>	- 独 Ding
英 <i>ten</i>	- 独 zehn	英 <i>love</i>	- 独 Liebe
英 <i>book</i>	- 独 Buch	英 <i>prince</i>	- 独 Prinz
英 <i>day</i>	- 独 Tag	英 <i>fish</i>	- 独 Fisch



Lektion 1 ドイツ語の動詞はすべての人称で変化する

●動詞の現在人称変化① ●動詞の位置（平叙文、疑問文） ●動詞 sein の変化

1 人称代名詞（主語）

	単数 (sg.)	複数 (pl.)
1人称	ich 私は (I)	wir 私たちは (we)
2人称 (親称)	du 君は (you)	ihr 君たちは (you)
3人称	er 彼は (he)	sie 彼らは / 彼女らは / それらは (they)
	sie 彼女は (she) es それは (it)	
2人称 (敬称)	Sie あなたは (you)	Sie あなたがたは (you)

ここがポイント

- 英語の2人称は you だけですが、ドイツ語には **du, ihr, Sie** の3つがあります。
- sie** (she), **sie** (they), **Sie** (you) と耳では「ズィー」と聞こえる人称が3つありますが、**sie** (she) と **sie** (they) は次の 2 で学習するように動詞の形が異なります。
- 2人称親称は心理的に親しい（近い）間柄（家族、友人、子供、ペット、神、学生同士など）に、敬称は心理的に親しくない（遠い）間柄（学生⇄先生、友人ではない大人同士など）に用います。

2 動詞の現在人称変化

動詞の不定形（不定詞） = 語幹 + en。この en の部分が変化する。

trinken (飲む) の例

ich	— e	wir	— en
du	— st	ihr	— t
er/sie/es	— t	sie	— en
Sie		— en	

ich	trinke	wir	trinken
du	trinkst	ihr	trinkt
er/sie/es	trinkt	sie	trinken
Sie		trinken	

- 語幹が -t, -d で終わる動詞は、人称語尾が -st や -t のとき、発音しやすくするために語幹と人称語尾の間に e が入ります。arbeiten (働く) の例：du arbeitest, er/sie/es arbeitet, ihr arbeitet
【発音上の工夫が必要な動詞】【語尾が -n で終わる動詞】については **Plus! 文法** 11 2 56, 57頁

ここがポイント

単数形・複数形の敬称2人称の **Sie** (you) と3人称複数の **sie** (they) の動詞の形は同じです。

3 文の構成

(1) 平叙文：動詞は2番目におく。

Ich **lerne** Deutsch. 私はドイツ語を学んでいます。
Heute **kommt** er nicht. 今日彼は来ません。

ここがポイント

2番目というのは、単語ではなく文の成分として、という意味です。例えば、Jeden Morgen **joggt** sie. (毎朝彼女はジョギングをする) の場合は jeden Morgen という副詞句をまとめて1つの成分と考えます。

(2) 決定疑問文（答えに yes か no かの決定を要求する疑問文）：動詞＋主語～？の順

答え方：yes は **ja**, no は **nein**。否定の場合は否定辞 (**nicht** : 英 *not*) が入る。

Lernst du auch Deutsch? 君もドイツ語を学んでいますか？ (auch ～もまた : 英 *also*)

– Ja, ich lerne Deutsch. はい、私もドイツ語を学んでいます。

– Nein, ich lerne nicht Deutsch (sondern Spanisch).

いいえ、私はドイツ語を学んでいません (そうではなく、スペイン語を学んでいます)。

➤ nicht A, sondern B は英語の *not A but B* に相当する。「Aではなく、Bである」

ここがポイント

ドイツ語には一般動詞を使った疑問文、否定文に英語の *do, does, did / don't, doesn't, didn't* に相当するものではありません。

(3) 疑問詞のある疑問文：疑問詞＋動詞＋主語～？の順

疑問詞

wo どこに / で (*where*) **woher** どこから (*where ... from*) **was** 何が、何を (*what*)

wie どのように、どのぐらい (*how*) **wer** 誰が (*who*) **wann** いつ (*when*) など

Was lernt er? 彼は何を学んでいますか？ – Er lernt Chinesisch. 彼は中国語を学んでいます。

Wer kommt heute? 誰が今日来るのですか？ – Heute kommt Sophia. ソフィアが今日来ます。

Wo wohnt sie? – Sie wohnt in Frankreich.

彼女はどこに住んでいますか？ – 彼女はフランスに住んでいます。

Woher kommst du? – Ich komme aus Österreich.

君はどこ出身ですか？ – 私はオーストリア出身です。

4 sein (～です、～がある 英: be) の現在人称変化

ich	bin	wir	sind
du	bist	ihr	seid
er/sie/es	ist	sie	sind
Sie		sind	

Er ist Student. 彼は大学生です。

Sie ist Studentin. 彼女は大学生です。

Wir sind müde. 私たちは眠いです。

Bist du Japaner? 君は日本人ですか？ – Nein, ich bin Koreaner. いいえ、私は韓国人です。

ここがポイント

Er/Sie ist Student/Studentin. (英: *He/She is a student.*) この場合、ドイツ語では身分、職業を表す名詞は無冠詞で使われます。また、身分や職業名に付けられた語尾 **-in** は女性形を表します。

女性形ではウムラウトすることもあります。たとえば **Arzt** (男性の医者) / **Ärztin** (女性の医者)

なお、A=B (AはBである) という構文では B も1格です。A=B の=には sein/werden/bleiben が入ります (bleiben ～のままである)。

Übungen 1

1 [] 内の動詞を適切な形にして () に入れなさい。

1. Sie () freundlich. [sein] 彼女は親切です。
2. Er () sehr gut Fußball. [spielen] 彼はサッカーをするのが上手です。
3. Ich () Blumen. [lieben] 私は花が好きです。
4. Er () jeden Tag. [arbeiten*] 彼は毎日働いています。

* 6頁 2の >

ここがポイント

ドイツ語では動詞との結びつきの強い文の成分が後ろにおかれます。例えば、2. の **Fußball** のような目的語は副詞句 **sehr gut** より後におかれます。

2 和訳しなさい。

1. Was machst du heute? (was 何を、machen する、heute 今日)
2. Sie trinkt gern Kaffee. (gern 好んで、Kaffee コーヒー)
3. Reist du gern? – Ja, ich reise sehr gern. (reisen 旅行する、sehr とても)
4. Jeden Nachmittag spiele ich Klavier. (jeden Nachmittag 毎日午後、spielen 弾く、Klavier ピアノ)

3 ドイツ語にしなさい。

1. 君は何を買うのですか? – 私はじゃがいもを買います。(買う kaufen, じゃがいも Kartoffeln ※ Kartoffel の複数形)
2. 毎晩彼は音楽を聴きます。(毎晩 jeden Abend, 聴く hören)
3. あなたは大学生ですか? – いいえ、私は大学生ではなく教師です。(教師 Lehrer/Lehrerin)
4. 君たちはお腹が空いていますか? – はい、私たちはお腹が空いています。(お腹が空いている Hunger haben)

4 () の中の単語の音を聴きとり、埋めなさい

1. Spielen () Tennis?
2. (), ich () Tennis.
3. Wann () er?
4. Sie () heute nicht.

5 パートナーと会話をしてみましょう。次に下線部を変えて言ってみましょう。

A : Wie heißt du? (君の名前は何というの?)

B : Ich heiße Sophia. (ソフィアだよ。)

自分の名前を言いましょう。

A : Woher kommst du? (君はどこ出身なの?)

B : Ich komme aus Frankreich. (フランス出身だよ。)

Deutschland ドイツ、**England** イギリス、**Spanien** スペイン、**Italien** イタリア、**Japan** 日本、**China** 中国、**Korea** 韓国

A : Wo wohnst du? (君はどこに住んでいるの?)

B : Ich wohne in Wien. (ウィーンだよ。)

Berlin ベルリン、**London** ロンドン、**Moskau** モスクワ、**Paris** パリ、**Rom** ローマ、**Tokio (Tokyo)** 東京、**Kioto (Kyoto)** 京都

健太とザビーネのドイツ語の「なぜ」?



ドイツ語の動詞は **-en** で終わり、すべての人称で変化するね。



英語も昔は3つの人称グループに分け、それらと動詞の変化を呼応させていたよ。中英語 (*Middle English*) の時代では複数形に **-en** がついていて、やがて **-n** も消えた。実は *love*, *make* などは発音しない *e* を保ったまま今に至っている語なんだよ。



英語の動詞は3人称単数現在形に **s** がつくけど、ドイツ語では **t** だよ。



英語に残った語形変化は3人称単数現在形の **-s** だけだけど、これは同じ語源の **-eth** が最終的にはドイツ語では **-t** に、英語では **-eth** が北部方言の **-es** に駆逐され、結局 **-s** になったわけ。古英語 (*Old English*) の *love* にあたる語の現在形では1人称は **-e**、2人称は **-st** で終わっているんだよ。ドイツ語みたいじゃない?



Lektion 2 名詞の性と格を示すのが冠詞の役割

●名詞の性と格 ●複数形 ●冠詞 ●重要動詞 haben と werden の変化



1 名詞の性と格

名詞には性（男性名詞、女性名詞、中性名詞）があり、役割に応じて1格、2格、3格、4格がある。性と格に応じて、その名詞につく冠詞（定冠詞、不定冠詞）の形が異なる。

たとえば、英語の *the father, the mother, the child* にあたるドイツ語は **der** Vater (男), **die** Mutter (女), **das** Kind (中) となる。定冠詞の単数1格は性により *der, die, das* の3種類あるが、複数になると同じ *die* という冠詞になる。

なお、2つ以上の名詞を組み合わせた合成語の性は最後の名詞の性に従う。

(例) Stadt (女) 街 + Plan (男) 図面 → Stadtplan (男) シティマップ

ここがポイント

性とは「文法上の性」で、すべての名詞にあります。

➤ 【文法上の性と自然の性】については [Plus! コメント](#) 71頁



2 複数形

名詞の複数形は名詞の語尾に **-** (語尾なし [例] *die Mutter* 母 → *die Mütter*), **-e** ([例] *das Jahr* 年 → *die Jahre*), **-er** ([例] *das Wort* 言葉 → *die Wörter*), **-(e)n** ([例] *die Frau* 女性 → *die Frauen*), **-s** ([例] *das Auto* 車 → *die Autos*) をつけて作る5つの型がある。冠詞は複数形の定冠詞 *die* をつける。

➤ 【複数形のウムラウトと型の一覧】については [Plus! 文法](#) 57頁



3 冠詞

(1) 定冠詞 (英: *the*) の格変化

	男性名詞	女性名詞	中性名詞	複数名詞
1格(～は / が)	der Vater	die Mutter	das Kind	die Kinder
2格(～の)	des Vaters	der Mutter	des Kind(e)s	der Kinder
3格(～に)	dem Vater	der Mutter	dem Kind	den Kindern
4格(～を)	den Vater	die Mutter	das Kind	die Kinder

定冠詞は直後の名詞が「特定のもの」であることを表す。

Die Lehrerin (女性1格) lobt **den** Schüler (男性4格). その(女性の)先生はその生徒をほめる。

Sie schenkt **dem** Lehrer (男性3格) **die** Blumen (複数4格). 彼女はその先生にその花をプレゼントする。

2格の使い方には注意が必要である。

① 修飾したい名詞の後ろから前の名詞にかける。

das Buch **der** Studentin その(女子)大学生(女)の本(中)

der Wagen **des** Vaters その父親の車(Wagen(男)車)

② 男性名詞、中性名詞には(所有者となる)名詞の語尾に **-s** または発音上の理由により **-es** をつける。女性名詞、複数名詞には何もつけない。

➤ 【2格の **-s** と **-es** の付与の規則性】については [Plus! コメント](#) 71頁

なお、複数名詞の3格には **-n** がつく。

ここがポイント

冠詞の語尾変化は **-e, -er, -es, -em, -en**。(ただし定冠詞では女性・複数1、4格は *die*、中性1、4格は *das*)

辞書にはたとえば、Kleid (中) **-(e)s/-er** 「ドレス」のように、最初にその名詞の性、次にスラッシュ (/) の左側に単数2格の語尾、スラッシュの右側に複数形の語尾、と表記される。

3人称単数の人称代名詞 *er, sie* は「彼、彼女」と人間を受ける場合だけではなく、物を指す場合も、*der Tisch* (男) 机 → *er, die Tasche* (女) バッグ → *sie* のように「文法上の性」に一致させる。

(2) 不定冠詞 (英: *a, an*) の格変化

	男性名詞	女性名詞	中性名詞	複数名詞
1格(～は / が)	ein△ Vater	eine Mutter	ein△ Kind	Kinder
2格(～の)	eines Vaters	einer Mutter	eines Kind(e)s	Kinder
3格(～に)	einem Vater	einer Mutter	einem Kind	Kindern
4格(～を)	einen Vater	eine Mutter	ein△ Kind	Kinder

不定冠詞は直後の名詞が「不特定のひとつ」であることを表す。

不定冠詞の語尾も **-e, -er, -es, -em, -en** のいずれかになるが、男性1格、中性1、4格で語尾がつかない(表の△のところ)。

不定冠詞は「ひとつの」という意味ももつので、不定冠詞の複数形はないが、名詞は無冠詞複数になる。つまり、*ein Kind* の複数形は *Kinder*。

➤ 【ドイツ語の冠詞の役割】については [Plus! コメント](#) 71頁

4 重要動詞 haben と werden の変化

(1) haben 「～を持っている」(英: *have*)

ich	habe	wir	haben
du	hast	ihr	habt
er/sie/es	hat	sie	haben
Sie haben			

Die Studentin **hat** ein Handy und einen Computer. その大学生は携帯(中)とコンピュータ(男)を持っている。

Sie **hat** Hunger. 彼女はおなかがすいている。(空腹(男)をもっている)

Ich **habe** eine Schwester und zwei Brüder. 私は姉(妹)(女)がひとりと兄(弟)(男)がふたりいます。

なお、haben は完了形をつくる助動詞ともなる。(👉 Lektion 6 26頁)

(2) werden 「～になる」

ich	werde	wir	werden
du	wirst	ihr	werdet
er/sie/es	wird	sie	werden
Sie werden			

du と *er* で不規則、*ihr* では発音しやすくするための工夫として口調上の *e* が入る。

Du **wirst** dick. 君は太る。

Er **wird** Student. 彼は学生になる。

なお、werden は未来形や受動文をつくる助動詞ともなる。(👉 Lektion 7 31頁、Lektion 8 35頁)

➤ 【nicht の位置】については [Plus! 文法](#) 57頁

➤ 【男性弱変化名詞】については [Plus! 文法](#) 58頁

Übungen 2

1 ABC 次の文の () には適切な定冠詞を、[] には適切な不定冠詞を入れなさい。

- Das ist [] Tasche. () Tasche ist sehr schön, aber teuer.
それはバッグ (女) です。そのバッグはとてもすてきだが、値段が高い。
- Er schreibt () Hotel [] E-Mail. 彼はそのホテル (中) にメール (女) を書きます。
- () Frau hat [] Sohn. () Katze () Sohns ist hübsch.
その女性 (女) には息子 (男) がいます。その息子の猫はかわいい。
- () Kind kauft [] Ansichtskarte () Stadt Wien.
その子供 (中) はウィーン市 (女) の絵葉書 (女) を1枚買います。

2 和訳しなさい。

- Wie viel kostet das Kleid? – Es kostet 9 Euro. (Kleid (中) ドレス)
- Der Student schickt der Freundin jeden Tag E-Mails. (schicken 送る)
- Die Firma hat Probleme. Sie braucht viel Geld und Hilfe. (Firma (女) 会社、brauchen 必要とする、Hilfe (女) 援助)
- Wer kauft das Bett und den Schrank? – Der Mann dort. Er kauft auch den Teppich. (wer 誰が、Schrank (男) キャビネット、Teppich (男) カーペット)

ここがポイント

2. の **jeden Tag** (英: *every day*) は時を表す名詞4格を副詞的に使う用法です。

3 ドイツ語にしなさい。

- その男の弟はスーツを1着買う。(スーツ Anzug (男))
- 誕生日はいつですか? (誕生日を迎える Geburtstag haben)
- その大学生は幸せになる。(幸せな glücklich)
- そのお母さんはその女の子に花をプレゼントする。(女の子 Mädchen (中)、花 Blumen ※Blume (女) の複数形)



4 () の中の単語の音を聴きとり、埋めなさい。

- Ich suche () Bleistift.
- () Ansichtskarte ist teuer.
- Wie alt () du?
- () du Durst?

5 パートナーと会話をしてみましょう。次に下線部を変えて言ってみましょう。

A: Was suchst du? (君は何をさがしているのですか?)

B: Ich suche ein Sofa. Aber das Sofa ist teuer. (ソファです。でもそのソファは高いです。)

Bett (中) ベッド、**Tisch (男)** 机、**Lampe (女)** スタンド、**Stuhl (男)** 椅子
billig 値段が安い、**preiswert** お買い得な、**groß** 大きい、**klein** 小さい

A: Was kaufen Sie der Mutter? (お母さんに何をかうのですか?)

B: Ich kaufe der Mutter eine Ansichtskarte. (お母さんに絵葉書を買います。)

Vater (男) 父、**Tante (女)** おば、**Bruder (男)** 兄(弟)、**Schwester (女)** 姉(妹)

A: Was wird der Schüler(die Schülerin) später? (その生徒は将来何になりますか?)

B: Er(Sie) wird Polizist(in). (彼/彼女は警察官になります。)

➤ -in がつくと女性形になる

Journalist(in) ジャーナリスト、**Lehrer(in)** 教師、**Arzt (Ärztin)** 医者、**Verkäufer(in)** 店員

健太とザビーネのドイツ語の「なぜ」?



ドイツ語の男性名詞、中性名詞の2格には **-es** がつくけれど、女性名詞にはつかないよね。



そうだね、でも英語でも古英語の頃はドイツ語と同じで、名詞に3つの性があったよ。2格は属格といって、属格にはドイツ語同様男性名詞と中性名詞に **-es** がついていて女性名詞には **-e** がついたわけ。



それって、意味的には英語の所有を表す **-'s** を連想するけど、関係がある?

あるよ。英語史では、古英語の属格(2格)の **-es** 語尾が現代英語の所有格の **-'s** の源泉と言われているよ。女性名詞の **-e** も含め他の各語尾は早くに消えたのに、この **-es** が **-'s** となって残った理由にはまだ定説がないけどね。



Lektion 3 所有冠詞と否定冠詞は不定冠詞の仲間

●所有冠詞 ●否定冠詞 ●人称代名詞の3・4格

不定冠詞 ein と同じような変化をする冠詞類を不定冠詞類と呼ぶ。所有冠詞と否定冠詞がある。

➤ 定冠詞 der と同じような変化をする定冠詞類については [Plus! 文法](#) ① 58頁



1 所有冠詞

名詞の前について、「私の」、「君の」などの所有関係を表す。

	単数	複数
1人称	mein 私の (my)	unser 私たちの (our)
2人称 (親称)	dein 君の (your)	euer 君たちの (your)
3人称	sein 彼の (his)	ihr 彼らの/彼女らの/それらの (their)
	ihr 彼女の (her)	
	sein それの (its)	
2人称 (敬称)	Ihr あなた [がた] の (your)	

➤ 【まぎらわしい ihr】について、および【3人称の所有冠詞の性について】は [Plus! コメント](#) ① ② 71頁

所有冠詞は、直後の名詞の性・数・格に応じて、不定冠詞 ein と同じような語尾変化をする。

所有冠詞の格変化 (mein の例)

	男性	女性	中性	複数
1格	mein△ Vater	meine Mutter	mein△ Kind	meine Kinder
2格	meines Vaters	meiner Mutter	meines Kind(e)s	meiner Kinder
3格	meinem Vater	meiner Mutter	meinem Kind	meinen Kindern
4格	meinen Vater	meine Mutter	mein△ Kind	meine Kinder

➤ 不定冠詞 ein と形がよく似ている mein, dein, sein だけでなく、ihr, Ihr, unser, euer も同じように語尾変化する。特に unser, euer については [Plus! 文法](#) ② 59頁

ここがポイント

1. 語尾は **-e, -er, -es, -em, -en** のいずれかです。不定冠詞と同じく、男性1格、中性1・4格の3か所には語尾がありません。 [Lektion 2](#) ③ 10頁
2. 複数名詞につく場合は、定冠詞の語尾変化に準じます。

Wie findest du **meine** Tasche? – Ich finde **deine** Tasche schön.

私のカバン(♀) どう思う? – 素敵だと思うよ。

Wo ist **unser** Zimmer? – **Euer/Ihr** Zimmer ist hier!

私たちの部屋(♂) はどこ? – 君たちの/あなたがたの部屋はここですよ!

Seine Schwester schenkt **ihrem** Freund ein T-Shirt.

彼の妹(姉) (♀) は彼女のボーイフレンドにTシャツ(♂) をプレゼントする。

2 否定冠詞 kein

名詞の前について、それが「ない」ことを表す (英語で *I have no idea.* というときの *no* に相当)。直後の名詞の性・数・格に応じて、不定冠詞 ein と同じような語尾変化をする (複数名詞につく場合は定冠詞の語尾変化に準じる)。

nicht と kein の使い分け

- ① 不定冠詞 ein のついた名詞や、無冠詞の名詞を否定するとき → kein を使って否定文を作る
Ich habe **ein** Smartphone. → Ich habe **kein** Smartphone.
私はスマートフォン(♂) を持っています。→私はスマートフォンは持っていません。
Ich habe am Wochenende Zeit. → Ich habe am Wochenende **keine** Zeit.
私は週末に時間(♀) (※無冠詞) があります。→私は週末に時間がありません。

- ② それ以外のとき → nicht を使って否定文を作る
Ich kaufe den Pullover. → Ich kaufe den Pullover **nicht**.
私はそのセーターを買います。→私はそのセーターを買いません。
Ist das dein Computer? – Nein, das ist **nicht** mein Computer, sondern ihr Computer.
それは君のパソコン(♂) ですか? – いいえ、それは私のパソコンではなく、彼女のパソコンです。

ここがポイント

(×) Ich habe ein Smartphone nicht. とか、(×) Ich habe am Wochenende Zeit nicht. などと言うことはできません。

3 人称代名詞の格変化

Lektion 1で学習した人称代名詞も格変化する。

	単数					複数			単数・複数
	1人称	2人称 (親称)	3人称			1人称	2人称 (親称)	3人称	
1格 (～は/が)	ich	du	er	sie	es	wir	ihr	sie	Sie
3格 (～に)	mir	dir	ihm	ihr	ihm	uns	euch	ihnen	Ihnen
4格 (～を)	mich	dich	ihn	sie	es	uns	euch	sie	Sie

➤ 【3人称の人称代名詞と定冠詞の照応関係について】は [Plus! コメント](#) ③ 72頁

Ich wünsche **dir/euch/Ihnen** viel Erfolg!

君/君たち/あなたたちに成功を祈っています。

Er liebt **sie** sehr, aber sie liebt **ihn** nicht.

彼は彼女をととても愛しているが、彼女は彼を愛していない。

Verstehst du **mich**? – Nein, ich verstehe **dich** nicht.

私の言っていること分かる? – いいえ、分かりません。



Übungen 3

1 ABC () に所有冠詞または否定冠詞を入れなさい。

- () Hobby ist Tanzen. 私の趣味④はダンスをすることです。
 - Kennen Sie () Frau? 彼の奥さん④をご存知ですか? (kennen 知っている)
 - Wir danken () Freunden sehr. 私たちは私たちの友人たち④にとっても感謝している。
(danken + 3格 ~に感謝する)
 - Habt ihr () Idee? 君たちアイデア④何もないの?
- 3.の **danken** や、**helfen** (下記②の1.)、**gehören** (下記②の3.)、**gefallen** (下記③の4.のような【3格目的語をとる注意すべき動詞】) については **+** **Plus! 文法** ④ 59頁

2 和訳しなさい。

- Helft ihr euren Eltern? – Ja, wir helfen ihnen oft. (helfen + 3格 ~を助ける、oft しばしば)
- Kennst du ihn? – Nein, leider nicht. Ich glaube, sie kennt ihn. (leider 残念ながら、glauben ~と思う)
- Wem gehört der Laptop? – Er gehört uns. (wem 誰に、Laptop ④ノートパソコン、gehören + 3格 [ある物が] ~のものである) ※ wem については **+** **Plus! 文法** ⑤ 60頁
- Hast du eine E-Mail-Adresse? – Ja, ich gebe sie dir gleich. (E-Mail-Adresse ④電子メールアドレス、gleich すぐに)

ここがポイント

geben (与える)、**schenken** (贈る)、**bringen** (持って行く)、**zeigen** (示す) など、動詞の中には3格目的語と4格目的語を両方取るものがあります。このときの3格目的語と4格目的語の語順については **+** **Plus! 文法** ⑥ 60頁

3 ドイツ語にしなさい。

- 私は彼女に花を買います。 (花 Blumen ④ ※無冠詞で、買う kaufen)
- 君たちは私たちにチョコレートをくれるの? (チョコレート Schokolade ④ ※無冠詞で、くれる geben)
- あなたはワインを飲みますか? – いいえ、飲みません。 (ワイン Wein ④ ※無冠詞で、飲む trinken)
- 彼のお母さんはその靴を気に入っていますか? – いいえ、彼女はそれを気に入っていません。 (お母さん Mutter ④, 靴 Schuhe ④, [物などが] ~の気に入る gefallen + 3格)

4 () の中の単語の音を聴きとり、埋めなさい。

- Was kauft sie () Vater zum Geburtstag? – Sie kauft () eine Krawatte.
- Hast du Hunger? – Nein, ich habe () Hunger.
- Kennst du ()? – Ja, ich kenne ()!
- Ich danke () für () E-Mail.

5 パートナーと会話をしてみましょう。次に下線部を変えて言ってみましょう。

A: Ist das dein Computer? (これは君のパソコンですか?)
B: Ja, das ist mein Computer. (はい、これは私のパソコンです。)

A: Hast du ein Fahrrad? (君は自転車を1台持っていますか?)
B: Nein, ich habe kein Fahrrad. (いいえ、持っていません。)

Fernseher ④ テレビ、**Uhr** ④ 時計、**Motorrad** ④ オートバイ

A: Wem schenkst du die Blumen? (この花を誰にプレゼントするの?)
B: Ich schenke sie meiner Mutter. (私のお母さんにプレゼントするんだ。)

A: **Bilderbuch** ④ 絵本、**Tasche** ④ カバン、**Ring** ④ 指輪
B: **Bruder** ④ 兄(弟)、**Freundin** ④ 女友達、**Großeltern** ④ 祖父母

健太とザビーネのドイツ語の「なぜ」?



どうしてドイツ語には格変化なんていうものがあるの?



ドイツ語は名詞につけた冠詞や代名詞を格変化させることで、その名詞や代名詞(を含む句)が文中でどのような役割を果たしているかを示しているんだよ。



そういふことか。それならドイツ語の格変化は、機能的には、日本語でいう格助詞「てにをは」と等しいということになるね。

そう。日本語では名詞・代名詞の後につけた格助詞で、ドイツ語では名詞の前につけた冠詞の格変化や人称代名詞それ自体の格変化で、それから英語ではその名詞・代名詞(句)を文のどの位置に置くかで名詞(句)の文中での役割を示しているよね。



Lektion 0 Plus! 文法

1 数詞 (序数詞、西暦年号の読み方) Lektion 0, 5頁

●序数詞

1-19は基数詞に -t を、20以上は -st をつける

1. erst	6. sechst	11. elft	16. sechzehnt	21. einundzwanzigst
2. zweit	7. siebt	12. zwölf	17. siebzehnt	(...)
3. dritt	8. acht	13. dreizehnt	18. achtzehnt	30. dreißigst
4. viert	9. neunt	14. vierzehnt	19. neunzehnt	(...)
5. fünft	10. zehnt	15. fünfzehnt	20. zwanzigst	

100. (ein)hundert**st** 1000. (ein)tausend**st**

●西暦

1099年までと2000年以降は基数と同じ読み方で、1100年から1999年までは100の単位で切って読む。

1078 (ein)tausendachtundsiebzig

1964 neunzehnhundertvierundsechzig

2005 zweitausendfünf

2100 zweitausendeinhundert

Lektion 1 Plus! 文法

1 現在人称変化で発音上の工夫が必要な動詞

(1) 語幹が -d, -t などで終わる動詞

arbeiten, finden など、語幹が -d, -t で終わる動詞は、現在人称変化の du, er/sie/es, ihr のところで、発音しやすくするために口調の e を入れる。

arbeiten (英: work) (働く)

ich	arbeite	wir arbeiten
du	arbeitest	ihr arbeitet
er/sie/es	arbeitet	sie arbeiten
Sie arbeiten		

Sie arbeitest immer fleißig. 彼女はいつも熱心に働く。

Wie findest du das? 君これをどう思う?

finden (英: find) (見つける、思う)

ich	finde	wir finden
du	findest	ihr findet
er/sie/es	findet	sie finden
Sie finden		

(2) 語幹が歯音 (-s, -ss, -ß, -tz, -x, -z) などで終わる動詞

reisen, heißen, sitzen など、語幹が歯音 (-s, -ss, -ß, -tz, -x, -z) で終わる動詞は、現在人称変化の du のところで、語尾は st ではなく、t のみとなる。

reisen (旅行する)

ich	reise	wir reisen
du	reist	ihr reist
er/sie/es	reist	sie reisen
Sie reisen		

Wie heißt du? お名前は? - Ich heiße Jonas. ヨナスといいます。

2 語尾が -n の動詞の現在人称変化 step UP

動詞の中には、数は少ないが、語尾が -en ではなく、-n だけのものもある (例: tun, handeln)。このタイプの動詞の現在人称変化は以下ようになる。

	tun (行う)	handeln (行動する)
ich	tue	hand(e)le
du	tust	handelst
er/sie/es	tut	handelt
wir	tun	handeln
ihr	tut	handelt
sie	tun	handeln
Sie	tun	handeln

➤ wir, sie (3人称複数), Sie のところで語尾が -en ではなく -n となることに注意。

➤ handeln のように -eln で終わる動詞は、ich のところで語幹の e が脱落することが多い。

Lektion 2 Plus! 文法

1 複数形のウムラウトと型の一覧

- (無語尾), -e の2つの型には複数名詞の幹母音 a, o, u, au がウムラウトするものとしていないものがある。-er の型は必ずウムラウトし、-(e)n, -s の2つの型はウムラウトしない。なお、-s 型は主として英語などの外来語に対応している。

無語尾型 -	Lehrer (男) → Lehrer	Garten (男) → Gärten	ウムラウトするものとしていないものがある
E 型 -e	Tag (男) → Tage	Zug (男) → Züge	
ER 型 -er	Kind (中) → Kinder	Haus (中) → Häuser	a, o, u, au は必ずウムラウトする
EN 型 -(e)n	Ohr (中) → Ohren	Woche (女) → Wochen	ウムラウトしない
S 型 -s	Auto (中) → Autos	Foto (中) → Fotos	

2 nicht の位置

・文全体を否定したい場合は nicht は文末に置く。

Sie repariert die Lampe nicht. 彼女はそのライトを修理しません。

・特定の語句を否定したい場合 (部分否定) は nicht はその前に置く。

Sie repariert nicht die Lampe (sondern das Sofa).

彼女が修理するのはそのライトではありません(そうではなく、そのソファです)。

(nicht..., sondern... 英: not...but...)

・ただし、文全体を否定したい場合にも動詞と結びつきが強い語が文末にある場合には、その語の前に nicht を置く。

Sie ist nicht krank. 彼女は病気ではない。

🏠【nicht と kein の使い分け】については Lektion 3 2 15頁

③ 男性弱変化名詞

男性名詞の1格以外の格変化において、単数形も複数形も語尾にすべて -(e)n がつくものがあり、これを男性弱変化名詞という。

Student (学生)

	単数		複数	
1格	der	Student	die	Studenten
2格	des	Studenten	der	Studenten
3格	dem	Studenten	den	Studenten
4格	den	Studenten	die	Studenten

この仲間には、特に人の名称、たとえば Mensch 人間、Junge 若者 (-n だけがつく)、Polizist 警察官などがある。

Lektion 3

Plus! 文法

① 定冠詞類

定冠詞 der と同じような語尾変化をする冠詞類を**定冠詞類**と呼ぶ。よく使われるものは次の4つ。

dieser この (*this, those*) **welcher** どの (*which*) **aller** すべての (*all*) **jeder** どの…も (*every, each*)

➤ この他に、**jener** あの・例の (*that, those*)、**solcher** そのような (*such*)、**mancher** 少なくない数の、それなりの数の (*some, many*) もある。

定冠詞類は、直後の名詞の性・数・格に応じて、定冠詞 der と同じような語尾変化をする。

定冠詞類の格変化 (dieser の例)

	男性	女性	中性	複数
1格 (～は / が)	dies er Tisch	dies e Lampe	dies es Buch	dies e Bücher
2格 (～の)	dies es Tisch(e s)	dies er Lampe	dies es Buch(e s)	dies er Bücher
3格 (～に)	dies em Tisch	dies er Lampe	dies em Buch	dies en Büch er n
4格 (～を)	dies en Tisch	dies e Lampe	dies es Buch	dies e Bücher

➤ dies-, welch-, all-, jed-, jen-, solch-, manch- の後に語尾がつくことに注意。次のようにしないこと。
(誤りの例) [男性1格](×)dieserer, [男性2格](×)dieseres, [男性3格](×)dieserem, [男性4格](×)dieseren など

➤ 語尾は **-e, -er, -es, -em, -en** のいずれかである。定冠詞と異なり、女性1・4格の語尾は -e、中性1・4格の語尾は -es となることに注意。📖 Lektion 2 ⑧ 10頁

Welchen Rucksack findest du gut? – **Diesen** Rucksack finde ich gut.

君はどのリュックサック **男** をいいと思いますか? – このリュックサックがいいと思います。

➤ welcher は、複数の具体的な選択肢の中から「どれ?」と尋ねる場合に用いる。これに対し、尋ねる側が具体的な選択肢のイメージを持っておらず「どんな(種類の)～」と漠然と尋ねる場合は **was für ein...** (英: *what kind of...*) という形を用いる。この ein は不定冠詞で、後ろの名詞の性・格に応じた変化をする(複数名詞や不可算名詞の場合は ein はつけない)。Was für einen Rucksack suchst du? どんなリュックサックを探しているの? Was für Bücher lesen Sie gern? どんな本を読むのが好きですか?

Der Lehrer schreibt **allen** Schülern eine E-Mail. 先生はすべての生徒たち **複** に E メールを送る。

Jedes Kind spielt gern. どの子ども **中** も遊ぶのが好きなものだ。

➤ jeder は単数形の名詞にのみつく。

② 所有冠詞 unser と euer の変化

所有冠詞の unser と euer は、語尾がつくと、発音しやすいように語幹の e が脱落することがある。

	男性	女性	中性	複数
1格	unser Δ / euer Δ	unsre / eure	unser Δ / euer Δ	unsre / eure
2格	unsres / eures	unsrer / eurer	unsres / eures	unsrer / eurer
3格	unsrem / eurem	unsrer / eurer	unsrem / eurem	unsren / euren
4格	unsren / euren	unsre / eure	unser Δ / euer Δ	unsre / eure

➤ なお、unser と euer の er を語尾と勘違いして、次のようにしないこと。
(誤りの例) [男性2格](×)unses, [男性3格](×)unsem, [男性4格](×)unsen など

③ 人称代名詞の2格 **stepUP**

人称代名詞の2格は所有関係を表さず、特定の前置詞、動詞、形容詞とセットで使われる。これらは現代では日常的に使われることは少ない。

Ich gedenke **ihrer**. 私は彼女のことをしのぶ。

Das Kind ist sich **seiner** selbst bewusst. その子は物心がついている。

	単数					複数			単数・複数
	1人称	2人称	3人称			1人称	2人称	3人称	2人称
	ich	du (親称)	er	sie	es	wir	ihr (親称)	sie	Sie (敬称)
2格(～の)	meiner	deiner	seiner	ihrer	seiner	unser	euer	ihrer	Ihrer

④ 3格目的語をとる注意すべき動詞

動詞の中には3格の目的語のみをとる動詞がある。中には3格だからといって日本語の「～に」に対応しない場合もあるので注意する必要がある。

folgen + 3格 ～のあとについて行く Er folgt ihr. 彼は彼女のあとについて行く。

helfen + 3格 ～を助ける Ich helfe meinen Eltern. 私は両親の手伝いをする。

danken + 3格 ～に感謝する Ich danke Ihnen sehr. 私はあなたにとっても感謝しています。

schmecken + 3格 [食べ物などが] ～にとって…味がする、おいしい

Die Suppe schmeckt mir gut. このスープはおいしい。

gefallen + 3格 [何かが] ～の気に入る、好みにかなう

Die Schuhe gefallen mir. 私はこの靴が気に入っている(この靴は私の好みにかなう)。

gehören + 3格 [ある物が] ～の所有物である Das Auto gehört mir. この車は私のものです。

また、以下の動詞は、日本語では「～に」と訳すが、4格の目的語をとるので注意。

fragen + 4格 ～に尋ねる Sie fragt den Lehrer. 彼女は先生に質問する。

grüßen + 4格 ～にあいさつする

Der Professor grüßt die Studenten. その教授は学生たちにあいさつをする。

なお、4格の目的語をとる動詞のことを他動詞といい、それ以外(3格の目的語をとるもの、目的語をとらないもの)を自動詞という。

5 疑問代名詞 wer, was の格変化

疑問代名詞の wer と was も以下のように格変化する。

	誰?	何?
1格 (～は / が)	wer	was
2格 (～の)	wessen	-
3格 (～に)	wem	-
4格 (～を)	wen	was

Wer ist das? これは誰ですか?

Wessen Auto ist das? これは誰の車ですか?

Wem gehört das Auto? これは誰の車ですか?

Wen fragst du? 君は誰に尋ねるの?

Was ist los? 何が起こったの? (どうしたの?)

Was trinkst du? 君は何を飲む?

6 3格目的語と4格目的語の語順

3格目的語と4格目的語を両方とる動詞の場合、4格目的語が代名詞かそうでないかによって語順が異なるので注意。

① 4格が代名詞ではない場合： 3格 + 4格

Ich gebe dem Lehrer das Buch. 私は先生にその本を渡します。

Ich gebe ihm das Buch. 私は彼にその本を渡します。

② 4格が代名詞の場合： 4格 + 3格

Ich gebe es dem Lehrer. 私は先生にそれを渡します。

Ich gebe es ihm. 私は彼にそれを渡します。

Lektion 4 + Plus! 文法

1 2格支配の前置詞

statt ～の代わりに **trotz** ～にもかかわらず **während** ～の間に

wegen ～のために(理由)など

trotz des Regens 雨(男)にもかかわらず **wegen** der Krankheit 病気(女)のために

➤ 2格支配の前置詞は口語では3格をとる傾向にある(特に wegen の場合)。

2 3・4格支配の前置詞における場所と方向

図書館の「外部」から「中」へ移動する場合のように、運動の「方向」があるときは4格になる。しかし、図書館の中で座って(静止状態)本を読んでいようが、本を探して動き回っていようが、彼が図書館という限定された空間の中にいるのなら「場所」としてとらえて、in のあとは3格になる。

3 前置詞と事物を指す代名詞の融合形

前置詞と代名詞を組み合わせる場合、「人」を指す代名詞であれば、人称代名詞(👉 Lektion 3 3 15頁)を用いるが、「事物」を指す代名詞であれば、da(r)+前置詞(darauf, dabei, damit, daran, darumなど)の形で前置詞と融合させる(daのあとにくる前置詞の頭文字が母音であれば dar +前置詞)。

+ Plus! コメント

Lektion 2 + Plus! コメント

1 文法上の性と自然の性

「自然の性」に従うものもあります。たとえば Vater 父、Bruder 兄(弟)は男性名詞、Mutter 母、Schwester 姉(妹)は女性名詞です。また、語尾と関係する性も一部あります。たとえば -ung (Übung 女 練習), -heit, -keit, -tät, -tionなどで終わるものは女性名詞です。

2 2格の -s と -es の付与の規則性

男性・中性名詞の2格語尾については、des Manns または Mannes のようにどちらでもよいことが多いのですが、Vater のような綴りでは、Vateres の -ere- という発音を避けるため、s だけがつきます。(👉 Lektion 3 + Plus! 文法 59頁 unser の項参照)。同様に、-el, -em, -en という語尾の場合も -s がつくのが一般的です。語尾が -s, -ss, -ß, -tz, -x, -z で終わるものには -es を付けます。(Kurs 男 講習, Fuß 男 足など)

3 ドイツ語の冠詞の役割

英語の *The mother loves the father.* にあたるドイツ語は Die Mutter liebt den Vater. ですが、これを Den Vater liebt die Mutter. として主語と目的語の語順が逆になっても意味は変わらないことは明確です。ドイツ語では der Vater は「父は」という主語であり、den Sohn は「息子を」という目的語であり、文のどこに置かれても「父は」「息子を」であることは変わりません。冠詞の形でそれがわかります。冠詞はその名詞の性と格を示す重要な指標です。

Lektion 3 + Plus! コメント

1 まぎらわしい ihr

これまで ihr という語がたびたび登場しました。同じつづりでもまったく意味が違うものが数種類ありますので、混同しないように注意してください。

ihr 君たちは(人称代名詞1格) 👉 Lektion 1 1 6頁

ihr 彼女に(人称代名詞3人称単数女性形 sie の3格) 👉 Lektion 3 3 15頁

ihr 彼女の、彼(女)ら / それらの(所有冠詞3人称単数女性、3人称複数) 👉 Lektion 3 1 14頁

Ihr あなた(がた)の(所有冠詞2人称敬称) 👉 Lektion 3 1 14頁

所有冠詞の2人称敬称の Ihr (あなた[がた]の)は、同じく所有冠詞3人称複数の ihr (彼[女]ら / それらの)の頭文字を大文字にしたものです。これは人称代名詞の2人称敬称の Sie (あなた[がた]は)が、3人称複数の sie (彼[女]ら / それらは)の頭文字を大文字にしたのと同種の現象です。👉 Lektion 1 1 6頁

2 3人称の所有冠詞の性について

3人称単数の所有冠詞は、「～の」と言われるその「～」が男性名詞か中性名詞を指す場合は sein、女性名詞なら ihr を使います。つまり sein は「彼の」「その」、ihr は「彼女の」とは訳せない場合があるので注意してください。以下の例を見てください。

Ich kenne das Mädchen. Aber **seinem** Vater kenne ich nicht.

私はその女の子(女)を知っています。しかし彼女の父親は知りません。

Musik und **ihr** Nutzen

音楽(女)とその効用

③ 3人称の人称代名詞と定冠詞の照応関係について

3人称の代名詞（男性・女性・中性・複数）の1・3・4格の形に注目してみましょう。Lektion 2で学習した定冠詞とどこか似ていますね。そう、語末がぴたりと揃っています。表にして比べてみましょう。

	男性		女性		中性		複数	
	定冠詞	人称代名詞	定冠詞	人称代名詞	定冠詞	人称代名詞	定冠詞	人称代名詞
1格	der	er	die	sie	das	es	die	sie
3格	dem	ihm	der	ihr	dem	ihm	den	ihnen
4格	den	ihn	die	sie	das	es	die	sie

なぜこうした一致が起きるのでしょうか。そもそも3人称とは、「私」（1人称）と「あなた」（2人称）の対話に登場する「私」と「あなた」以外のあらゆるものを指します。話題にのぼったものは、最初は不定冠詞つきの名詞として登場し、次に定冠詞がつき、最後に代名詞に置き換えられる、というのが典型的なパターンです。つまり3人称の代名詞というのは、（その名のとおりに）名詞の代わりに使うものなので、その名詞につく冠詞と語末が揃うことによって、代名詞と冠詞との対応関係がはっきりと示されているというわけです。冠詞であろうと人称代名詞であろうと、同じ格であれば同じ語末になる、とも言えます。

一方、ワンセットの「対話」の人称である1人称と2人称の3・4格においては、mir/dir、mich/dich というように、人称の対応関係が明示的に表現されています。

Lektion 4

Plus! コメント

① 2格支配の前置詞の由来

während は違いますが、元々2格の前置詞は名詞からきているもので、statt なら Statt で「場所」という意味です。だから、Statt des Vaters といえば、「父の場所」という意味で、父の場所を（他の誰かが）占める、つまりは「父の代わりに」となります。「名詞」出身であるからこそ、2格の名詞が後ろから前の名詞に掛かっているのです。

同様に trotz → Trotz（反抗）なので trotz des Regens は「雨に逆らって」つまり「雨にもかかわらず」となります。また wegen は元々は Weg（道）という名詞なので、wegen der Krankheit 「病氣のために」欠席したという場合には「病氣」（原因）から「欠席」（結果）という「道」筋ができるので「病氣が理由で、病氣のために」という意味になるわけです。

② 非人称の es 言語と文化

日本語では主語を立てずに表現するのが普通である自然現象や生理現象も、ドイツ語では非人称の es という主語を立てて言語化します。ドイツ語ではあらゆる事態を「主体が～する」という形で表現するのが重要なのです。このことは日本が「集団の和」を、ドイツ語圏が「主体性や個」を重んじる文化だとみなされることも密接に関係しています。また、「責任」という概念が「行為者＝～する主体」の存在を前提することも日独の言語と文化の関係を考える上で興味深い点です。精神分析を確立したフロイトが、主体性の背後に潜む無意識の本能や衝動を大文字で Es とよんだことも指摘しておきます。

Lektion 5

Plus! コメント

① 英語の不規則動詞

ドイツ語の強変化動詞は英語の次のような不規則変化をする動詞と対応しています。

give	gave	given
speak	spoke	spoken
take	took	taken

幹母音の交替のパターンがドイツ語のように3種類あり、過去分詞が -en で終わることがドイツ語と共通しています。

また、混合変化については、英語の、

bring	brought	brought
teach	taught	taught

といったタイプの変化の動詞と対応していて、過去形と過去分詞が同じになります。ドイツ語の混合変化動詞の過去基本形、過去分詞の変化のタイプが1種類で、過去基本形と過去分詞が同じことと共通しています。

ただ、英語の場合、他にもさまざまな変化のパターンがあるのに対し、ドイツ語では不規則変化動詞はほぼこの2つのパターンのいずれかに分類されるのが特徴的です。

② 動詞の人称変化の現在と過去

次の表で現在人称変化（👉 Lektion 1 ② 6頁）と過去人称変化の語尾を比較します。特徴的なのは1人称 ich と3人称の単数形 er/sie/es で、現在形では形が異なるのに対し、過去形ではどちらも同じ形で、しかも基本形のままになっています。

その他の人称では、実は同じ語尾が付加されていることがわかります。

	現在形（——には語幹が入る）	過去形（——には過去基本形が入る）
ich	—— e	——
du	—— st	—— st
er/sie/es	—— t	——
wir	—— en	—— (e)n
ihr	—— t	—— t
sie/Sie	—— en	—— (e)n

Lektion 6

Plus! コメント

① sein と bleiben の sein 支配

動詞 sein と bleiben は「場所の移動」も「状態の変化」も表さないのに助動詞 sein と結んで完了形を作るのが不思議に感じられるかもしれません。

本動詞 sein は werden の完了形 Ich bin ... geworden からの類推で Ich bin ... gewesen のように助動詞 sein をとると考えてもよいでしょう。また、bleiben は古くは「(体に) 急にくっつく」という意味だったことを考えれば場所の移動と考えることができますね。

Lektion 7

Plus! コメント

① 話法の助動詞の現在人称変化と動詞の過去人称変化の類似性

話法の助動詞の現在人称変化の表（30頁）を見ると、一人称 ich と三人称単数 er/sie/es が同じ形、そして二人称親称 du がそれに -st をつけた形になっていますが、これが過去形（👉 Lektion 5 ② 23頁）の変化形と似ていることに気づいたでしょうか？

実はこれにはちゃんと理由があります。ゲルマン語の強変化動詞（👉 Lektion 5 ドイツ語の「なぜ」？ 25頁、Plus! コメント ① 72頁）の完了形は、過去の行為によって引き起こされた現在の状態を表現できるため、完了形（ドイツ語では過去形）を現在として使うことができました。そのなかに過去現在動詞という種類の動詞があります。たとえば、können の現在形 kann は、本来「私は知った」を意味する完了形に由来し、「知った>